

和合

No.144
2022. 1. 15

題字 三浦修次

主な掲載記事

- | | | |
|----------------------|--------------------|----------------|
| ・和合の里あれこれ……………2 | ・はやぐおっきぐなれの〜！……3 | ・よつぱっこ通信……………4 |
| ・わたしが描く和合の里……………5 | ・わたしから見た和合の里……………5 | ・畑にこんにちは……………6 |
| ・季節の郷土料理……………6 | ・人生100年時代 ……………7 | ・わごう駐在所……………7 |
| ・和合の里INFORMATION ……8 | | |

和合の里 あれこれ

【南興屋編】

のころに創設されたと言いつたえられていますが、明治時代に入るまで領主が数回も変転し、記録がほとんど残っていないため、定かではありません。

明治27年（1894年）2月に火災が発生し、焼失しましたが、同年6月に再建し、昭和47年（1972年）に350年祭が行われました。今年、400年祭を迎えるにあたり、昨年に屋根の改修が行われました。

八幡神社

大正11年（1922年）に300年祭が行われているため、南興屋の開村は元和9年（1623年）と推測され、八幡神社はその



↑八幡神社



あまてらすこうたいじんぐう

↑境内には天照皇大神宮（左写真）や300年祭記念碑（右写真）が鎮座しています。



↑本殿の正面頭上には兎、扉には月を思わせる彫り物があります。

お山参りと坂迎え

毎年7月下旬頃に五穀豊穡を祈願し、お山参りが行われています。前年に当たらない世帯でくじ引きをしてその年の代参者を決めます。代参者は羽黒山に行き、虫札を拝受します。以前は月山（上の山）や鳥海山（下の山）へ行き、山頂で御祈禱を受けてから各戸の虫札を拝受したそうです。その後、公民館に集まり、各世帯へ虫札が配られます。配り終えたら、御馳走とお酒で坂迎えが開かれます。



←各世帯へ配られる虫札

敬老会

75歳以上を対象とした敬老会が行われています。当日は参加者が公民館に集まり、記念品が贈呈されます。その後、みんなで会食をします。会食中はおしゃべりやカラオケをして楽しいひと時を過ごします。



はやぐおっきぐなれの～!



リセ
檜山 莉晴ちゃん
(西袋)

令和3年6月17日生まれ

パパ：高志^{たかし} ママ：彩^{あや}

- 1 雲一つない晴天の日に私達家族の所に生まれてきてくれてみんなに愛されながら育ててほしいと願いを込めて「晴」という文字を使い名付けました。
- 2 小さな動物のぬいぐるみをつかみニコニコしています。寝返りはベテランなみに得意!!
- 3 食べる物に興味が出はじめ、食卓に並ぶごちそうに手をのぼしお皿を引っぱられた時は焦りました。
- 4 ソファに寝かせておいたら少し目を離れたすきに落ちて泣いていました。ゴメンね💧
- 5 家族みんなに注目され檜山家のアイドルです。優しく思いやりのある子に育ててほしいと思います。生まれてきてくれてありがとう💖



- 1 生まれた日が、晴天で気持ちよかったので空のように心が広く^{はやて}颯のように自分の風を吹かせられるようになってもらいたい。
- 2 寝返りができるようになってからは自分の気持ちがのるとうつぶせ寝しています。
- 3 ある夜食の時間のこと。ママの膝の上に座っていると自分の目の前にひじきの煮物の食器がきたので手でつかみ食器にかぶりついてました。離しても何回もするのですでした。



- 4 授乳後、オムツを取り替えると指をしゃぶりながら一人で寝てしまうこと。
- 5 お兄ちゃんと仲良く大きくなってね。
名前のように心が広く自分の風を吹かせて下さい。



そら
渡部 颯空ちゃん
(南興屋)

令和3年6月30日生まれ

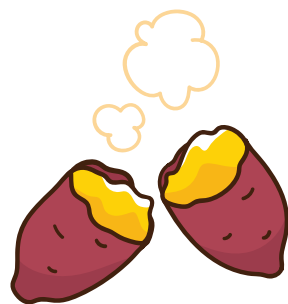
パパ：裕^{ゆたか} ママ：千夏^{ちなつ}

Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やはまってることは？ Q3 最近記憶に残ったエピソードは？
Q4 パパママの失敗談（子育てあるある） Q5 パパママからのメッセージ



余目第四幼稚園

よつばっこ通信



みのりの秋だよ！わっしょい！

今年もみのりの秋を迎えました。畑でサツマイモの収穫！みんなで力を合わせて頑張りましたよ。泥だらけになりながら、たくさんのサツマイモに大喜びの子ども達です。収穫したサツマイモを使って「焼いも大会」をしました！今回はその様子をお届けします！



熱いから
気をつけてね～



子ども達はこの日のために、落ち葉拾いも頑張りました。嬉しい事に地域のおじいちゃんにも落ち葉をたくさんいただいて、準備万端！濡れた新聞紙とアルミホイルで包み金網の上にのせてじっくり蒸し焼き！モクモクの煙の中、園庭で遊びながら待つ子ども達！さあ～お待たせ！できましたよ！ホクホク熱々の焼いも♡「いただきます～す！」



年長さんはイモのつるを使ってリース作りに挑戦！見て触って感じて味わって……。五感をフル活動させて生活している子ども達です。たくさんの経験をさせてくれるみのりの秋、わっしょい！！

余目第四小学校6年生 わたしが描く和合の里



瀬谷 真風
【南野】

私が描く「和合の里」は、景色がきれいなところです。田んぼの緑、鳥海山の青、花の赤や黄色。そんな景色が大好きです。生き物もたくさんいて、地域の人もやさしく声をかけてくれます。これから何年たっても、景色がきれいな和合の里でいてほしいです。



日下部 快成
【前田野目】

ぼくの好きな和合の里は、元気で楽しく明るいところです。友達とサッカーやいろいろな遊びをすると、とても楽しいです。自然がいっぱい広がっていて、とてもきれいです。これからも、みんなが明るく元気いっぱいになって過ごせたらいいと思います。



上林 結愛
【大真木】

四小学区の人たちは、いつも自転車に乗っている時、あいさつをすると笑顔であいさつを返してくれるところがいいと思います。地いきには自然がたくさんあり、みんなの笑顔でいっぱいだと思います。これからも明るい和合の里を残していきたいです。



佐藤 洸大
【廻館】

ぼくの好きな和合の里は、田んぼや稲の色が美しく、自然がきれいで落ち着きます。自然がいっぱいあって虫たちがたくさん住んでいて、とても気持ちがいいです。これからも、自然豊かな和合の里がずっと残っていてほしいです。



檜山 心優
【京島】

わたしが描く「和合の里」は、自然が豊かなところです。四小学区には、たくさんの田んぼがあります。稲は、季節が変わっていくたびに色が変わっていくので、季節を感じられます。わたしは、そんな「和合の里」が好きなので、これからも、この「和合の里」であってほしいです。

わたしから見た 和合の里



庄内町立余目第四幼稚園
教諭 梅木 寿也

第

四幼稚園に赴任して今年で二年目になります。以前狩川地区に勤務していたこともあり、通り道ではありましたが実際にじつくりと腰を据えるのは今回が初めてです。

第四学区に勤めるまでのイメージは、『運動神経が良くて、元気いっぱいな子が多い地域』ということでした。それは、私が小学生だった頃、年に一回の連合運動会（小体連）で見る『黄色い軍団』の活躍ぶりを目の当たりにしてきたからです。私が在籍していた『緑のチーム』は、いわゆる内弁慶が多く、他の学校の子と顔を合わせるとほとんど実力を発揮できずに終わっていましたが、『黄色い軍団』は大変足が速く、応援合戦でも声がそろっていて、圧倒されっぱなしでした。

中学生になると、四学区の友達もでき、実に明るく楽しい友達が多かったです。小学生の時に感じた威圧感のような物は一瞬にして親しみに変わりました。その友達とは今現在も良いお付き合いをさせていただいています。

そして現在、幼稚園の職員として第四学区の子ども達と接して感じることは、あの時と同じく『運動神経が良く、元気な子が多い』ということと、それに加えて『地域全体が温かく子ども達を見守ってくれている』ということです。四学区みんなの子として地域の皆様に愛されているからこそ、元気に伸び伸びと育つのだなあと、実感しています。

畑にこんにちは!

阿部 すみ子さん (沢新田)



空気が冷たい曇り空の日。今回お邪魔したのは、沢新田の阿部すみ子さんのハウスです。

ハウスの中には、大根、キャベツ、アスパラ菜、ほうれん草、チンゲン菜などの野菜が植えられていて、ほかにもレモンの木がありました。今年は雨が多かつ

たため、畑を起すのが大変だったそうです。

阿部さんは 30 年以上前から畑をしていて、以前は菊やマスクメロンの出荷をしていました。ハウスのほかに露地の畑もあり、そちらでは枝豆やじゃがいも、茄子などの野菜を植えています。



↑大根、ほうれん草、キャベツなど
たくさんの野菜が植えられています。

年間を通してさまざまな野菜を植えているため、スーパーで野菜を買うことはないそうです。

季節にかかわらず、1 日 1 回は様子を見に畑やハウス行き、管理をしています。1 人で管理しているため手が回らないときがありますが、その時は周りの人たちが手伝ってくれるそうです。「助けてもらっているからできている。ありがたいことだ。」と話していました。

畑をしていてよかったことは新型コロナウイルス感染症の影響で家にいる時間が増えたため、畑にいるときは気分転換になっていいと教えていただきました。

以前は畑をする一方で働きに出てクレーン車やミキサー車などを運転していました。また、趣味で踊りをしていた時は、ニューヨークや韓国で公演を

したこともあるそうです。

笑顔いっぱいいろいろな話を聞かせていただきありがとうございました。



↑レモンの木

季節の郷土料理



どんがら汁

◆材 料

- ・生たら切り身……………4 切
- ・どんがら(あら)………適量
- ・あぶらわた(肝臓)…適量
- ・だだみ(白子)……………200 g 程度
- ・だし昆布……………10 cm 程度 1 枚
- ・豆腐……………350 g
- ・長ねぎ……………1/2 本
- ・みそ ……………100 g
- ・酒粕 ……………30 g
- ・岩のり……………適量

◆作り方

1. たら身の身と頭、骨、あぶらわた(肝臓)をぶつ切りにする。
2. 豆腐はさいの目切り、長ねぎは斜め切りにする。
3. 鍋に水 1000ml、だし昆布を入れ火にかける。沸騰直前で昆布を取りだし沸騰したら、あぶらわた(肝臓)を入れひと煮立ちさせる。
4. たら頭の頭、骨を入れ、アクをよくすくい取りながら、中火で 5 分ほど煮る。
5. みそと酒粕をといて入れ、味を調える。
6. たら身の身を入れ 5 分ほど煮る。
7. 豆腐とだだみ(白子)を入れ、ひと煮立ちしたら火を止め、長ねぎを加える。
8. 器に盛り、上に岩のりをのせて完成。

○ポイント

だだみ(白子)は、塩少々(分量外)をふってぬめりを洗い流すと、食感が良くなる。

人生100年時代

冬のおふろは危険がいっぱい！

～入浴の正しい知識を身につけよう～

庄内町保健福祉課
健康推進係
主任 渋谷 麗



入浴死は交通事故死より多く発生しており、寒い日に入浴事故が多く発生しています。安全で気持ちのよい入浴習慣を身につけましょう。

【安全おふろ 8つのポイント】

- 1 体調が悪い時、お酒を飲んでから、食後 1 時間以内、血圧降下剤・安定剤・睡眠薬の服用後は入らない。
- 2 脱衣所には暖房機を置き、浴室は浴槽のふたを開けて暖めておく。
- 3 お湯の温度は 41 度以下にする。
- 4 入浴前後は十分な水分補給をする。
- 5 浴槽に入る前は足・腰などからかけ湯をして体を慣らす。
- 6 家族に一言かけてからお風呂に入る。(何かあった時に気付いてもらえる)
- 7 浴槽のふたを目の前に置き、半身浴をする。半身浴は心臓への負担を軽くし、もしもの時にふたによりかかることができる。
- 8 浴槽からあがる時はゆっくり立ち上がる。(急に立ち上がると血圧が低下します) たちくらみに注意。



庄内警察署
菅原 直樹
(第四学区担当)

わごう駐在所

～冬場の交通事故に気をつけましょう！～

気温がぐっと下がる冬の朝は、雪が降っていないなくても路面が凍結しているおそれがあります。

路面凍結が発生する条件は、大気や路面の温度、時期によって様々ですが、特に凍結しやすい場所は、

橋の上、トンネルの出入口、日の当たらない場所、交差点付近 となります。

事故に遭わないために「冬道の安全運転 5 則」を心がけた運転をお願いします。



- ① スピードは、夏場より 10 キロ以上減速する。
- ② 車間距離は、路面乾燥時の 2 倍以上とする。
- ③ 急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作を避ける。
- ④ 視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
- ⑤ 危険がいっぱい。追越はしない。

和合の里で活動している団体を紹介 第四学区老人クラブ連絡協議会

第四学区老人クラブ連絡協議会は60年以上前から活動している団体で、現在は和合の里の6つの老人クラブが加盟しています。

主な活動は今年度で14回目を迎えたグラウンドゴルフ大会や会員研修会を実施しています。会員研修会ではユネスコ無形文化遺産の「新庄まつり」やクルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」の見学などを行いました。現在は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会員研修会は実施していませんが、今後は規制緩和の状況をみながら実施したいと話していました。

これからも健康第一に活動をしていきたい。と笑顔で抱負を語っていただきました。



和合の里お笑い劇場

12月19日に和合の里お笑い劇場が開催され、山形落語愛好協会の皆さんから「庭蟹」、「ざる屋」などを披露いただきました。

参加者は終始笑いが絶えないひと時を過ごしていました。



健康 100 歳クラブ

12月15日に今年度最後の健康 100 歳クラブが開催されました。健康 100 歳クラブはいつまでも元気で暮らすために大切な「社会とのつながり」、「規則正しい食事」、「毎日の運動」について学ぶため、今年度から開催されました。

最終回では第1回目に行った体力測定を再び行い、計測結果を見比べ、体の状態を再確認しました。



亀ノ尾の里資料館 第96回企画展

「清河八郎展 一潜中紀事から見る改革への道」

清河八郎が逃亡中に攘夷討幕の同志を求めて全国遊説した時の記録「潜中紀事」、「潜中始末」から改革を目指す清河八郎の思想行動を紹介します。

◆ 期 間 / 2月13日(日)まで

◆ 時 間 / 午前9時～午後7時

※ 1月13日(木)は清掃のため 午後1時～午後7時の開館になります。

◆ 入館料 / 無料

◆ 問合せ / 和合の里を創る会事務局 (余目第四公民館内) TEL 44-2162



・お詫びと訂正

本誌143号(令和3年11月15日発行)に掲載しました「稲種「亀ノ尾」選出者阿部亀治記念 第3回和合の里フォトコンテスト」の受賞者に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

「大友治夫」さんの正しいお名前は「大友治生」さんです。